

クローバーつうしん

CLOVER TIMES



2024年4月1日 第64号

公益財団法人 金森和心会

クローバー子供図書館 / 発行

〒963-8851 郡山市開成6-346-1

TEL/FAX 024-932-2118

<http://www.k-washinkai.or.jp/clover/clover.html>



「縁で繋ぐクローバー子供図書館」

郡山ザベリオ学園幼稚園

預かり保育元職員

橋本 千栄子

最初に出会ったクローバー子供図書館は、幹線道路から少し入った畑と雑木林に囲まれた趣のある古い木造平屋の建物でした。その一角に蜂屋柿の木があつて、秋には枝いっぱいの実がなり、職員の方々はそれを干し柿にされていたときもありました。私も干し柿を食べさせて頂いたことなど懐かしい思い出です。

その後、環境の変化に伴い図書館は現在の地に移転されました。丸いドーム型の屋根の建物で、シンボルツリーのコニファーがそびえ立っています。玄関ではかわいいフクロウの親子のオブジェが迎えてくれ、扉を開けて中に入ると、たくさん絵本と児童文学書、そして職員の方々のやさしい笑顔が私たちを迎えてくれます。とても居心地の良いすてきな空間です。みなさん、ちよつとのぞいてみてください！子どもも大人も引き込まれること間違いなしだと思います。

プライベートでは、小説や月刊誌を借り受けるために二週間に一度は顔を出させて頂いています。また三月まで勤務していた預かり保育では、子ども達のために、一ヶ月に一度のペースで二十数冊の絵本を借り受け、それを表紙が見えるように棚に並べ、子どもが興味をもつてすぐ手にとれるような環境づくりを心掛けていました。「せんせいよんで！」と言ってくる子ども、ひとりで見ると子ども、友達と一緒に見る子どもなど絵本を楽しむ姿はそれぞれです。また大勢で見る大型絵本も人気があり、よく知っているキャラクターや絵の迫力に目を輝かせて集中して見ていました。特に繰り返しが見やすい「おおきなかぶ」は、何度見

ても楽しくみんなで声を合わせて、体を揺らしながらリズムをとって見ていました。子どもにとって、絵本の読み聞かせをしてもらう経験は、読み手である大人との相互作用でもあり、コミュニケーションを取る良い手段でもあるように思われます。

毎年三学期になると、子ども達の生活にも落ち着きがみられるようになり、絵本の触れ方にも丁寧さがみられるようになります。

年長児は、ひとり静かに文字を目で追いながら想像を膨らませます。年中児は、ひらがなが読めるようになった自信からか、ひと文字ずつ声に出してゆつくり読んで楽しんでる姿、特に言葉遊びなど、うたつて遊んで楽しんでる「あっちゃんあがつく」等の絵本に夢中でした。年少児は、キャラクターたちと絵本の世界に入り込む体験を楽しんでいる姿。絵本の触れ方は、年齢や個人差によって様々ですが、子どもは絵本を見ながら次の展開にワクワクドキドキしながら想像力を養ったりと、語彙を増やしたりいろいろな学びをしているようでした。

そして、このように子ども達が楽しんで絵本に触れている姿は、絵本の借り受けを続けてきて本当に良かったと思う瞬間でもありました。

クローバー子供図書館は、大人の私にとっても魅力的な本と出会い、自分の世界を広げさせてくれる場所でもあるのでこれからも積極的に活用させて頂きたいと思っております。



「あっちゃんあがつく」
みねようげんあん
さいとうしのぶ/さく
(リーブル)



預かり保育の様子



4月からかわりました！



開館時間変更

月曜～金曜 13時～17時
土曜日第1・3・5 10時～12時 13時～17時

えほんのじかん

日時：毎月最終水曜日 15時～
(例) 4/24 5/29 6/26
場所：クローバー子供図書館 2F
※4回参加でささやかな
プレゼントをさしあげます！



2024年度 催し物(予定)

工作教室

- 子ども講座 6/1・11/16
- 夏休みクラブ 7/20・7/24
- 針生まつり 10/20

その他

- ブックリサイクル 4/23～4/26
- 元気におよげこいのぼり 4/23～5/9
- 七夕飾り 6/25～7/6
- 秋の本をみつけよう 10/29～11/8
- 本のリクエストポスト 6月・1月
- しおりプレゼント 12/17～(先着50名)

2024年度 貸出2倍(予定)

- こどもの読書週間 4/23～5/9
- 秋の読書週間 10/29～11/8
- 夏休み 公立小学校休日に準ずる
- 冬休み ～"～
- 春休み ～"～

2023年度 事業報告

※開館日数 203日
※入館者数 1,877人
※登録者数 291人

子供	成人	合計
132人	159人	291人

※貸出人数

子供	成人	計
809人	910人	1,719人

※貸出冊数

子供	成人	計
4,795冊	4,263冊	9,058冊

※団体貸出

団体数	対象会員数	貸出冊数
9組	938人	1,396冊



2023年度 貸出ランキング上位

ノンフィクション

- 「食料危機のサバイバル」
ゴムドリ co./文 韓賢東/絵
(朝日新聞出版)
- 「ドクターエッグ1」
バク・ソンイ/文 洪鐘賢/絵
(朝日新聞出版)
- 「野菜はすごい!」
柴田書店/編 (柴田書店)

絵本

- 「パンどろぼう おにぎりぼうやのたびだち」
柴田ケイコ/作 (KADOKAWA)
- 「ここにぎりくんのおかいもの」
宮澤真理/作 (フレーベル館)
- 「ばばばあちゃんのマフラー」
さとうわきこ/文・絵 (福音館書店)

大人の本

- 「くもをさがす」
西加奈子/著 (河出書房新社)
- 「図書館のお夜食」
原田ひ香/作 (ポプラ社)
- 「志麻さんの自宅レシピ」
サタン志麻/著 (講談社)

— 編集後記 —

ここ数日、暖かい日が続き、図書館の庭のつくしも日に日に伸びています。あちこちで桜の便りが聞かれ、郡山でも開花を前に露店や花見団子店が賑わっています。感染症対策で、長い間おやすみしていた絵本の読み聞かせを4月から再開します。その他の行事についても、以前のように開催予定です。詳細については、開催日近くにご案内やホームページにてお知らせいたします。みなさんぜひご参加ください！

G・Wの案内

5月1日(水)は
5月2日(木)は
開館します。

詳細はホームページで「確認」してください。

春におすすめの絵本



「わすれていいから」
大森裕子 (KADOKAWA)



「さくら」
長谷川摂子/文
矢間芳子/絵・構成
(福音館書店)